「ま」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「ま」で始まる語彙辞典 4

おわりに 18

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「ま」で始まる語彙辞典

まい - きゃく【埋却】
［名］（スル）
地中などにうめること。また、うまること。「地中深く―する」「―処分」「―地」

枚挙(まいきょ)に遑(いとま)がな・い
たくさんありすぎて、いちいち数えきれない。「同種の事例は―・い」

まい - くる・う【舞（い）狂う】
［動ワ五（ハ四）］
狂ったように激しく舞う。「木の葉が風に―・う」

まい - こつ【埋骨】
［名］（スル）
死者の骨を土中に葬ること。「故郷の墓に―する」

まい - せつ【埋設】
［名］（スル）
地中に埋めて設置すること。「下水道を―する」「電話線の―工事」

ま - いちもんじ【真一文字】
［名・形動］
① 一の字のようにまっすぐなこと。また、そのさま。一直線。「―に口を結ぶ」
② わき目も振らないこと。また、そのさま。「―に突き進む」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まえ - げいき【前景気】
事の始まる前の人気・評判。「―をあおる」

まえ - こうじょう【前口上】
実演・実技などの始まる前に述べる口上。また、本題に入る前に述べる言葉。まえおき。「―が長い」

まえ - にんき【前人気】
事の始まる前の人気・評判。「―は上々だ」

まえ - ひょうばん【前評判】
ある物事が行われる前の評判。「―どおりの活躍」

蒔(ま)かぬ種(たね)は生えぬ
何もしないではよい結果は得られないことのたとえ。

間(ま)がい・い
折がいい。いいタイミングである。運がいい。「ここで会えるとは―・いね」

ま - がし【間貸し】
［名］(スル)
代金を取って部屋を貸すこと。「二階を―する」⇔間借り。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

間(ま)が持(も)て◦ない
① 時間をもてあましてどうしたらよいかわからない。「待ち時間が長すぎて―◦ない」
② 途切れがちの会話などを、うまくつなぐことができない。「無口な相手で―◦ない」

間(ま)が悪・い
① きまりが悪い。ばつが悪い。「悪口の当人がそばにいて―・い思いをする」
② 運が悪い。折が悪い。「―・いことに留守だった」

ま-くつ【魔窟】
① 悪魔の住んでいる場所。魔境。
② 悪事を働く人間の集まる場所、特に売春や麻薬売買などの行われる場所。

枕(まくら)が上がら◦ない
病気が治らず床から起き上がれない。「倒れてから半年たっても―◦ない」

枕(まくら)を重・ねる
男女がたびたび一緒に寝る。情交を重ねる。「人目を忍んで―・ねる」

枕(まくら)を交わ・す
男女が共に寝る。「―・した仲」

枕(まくら)を敧(そばだ)・てる
枕から頭を上げ、耳を澄まして聞く。「隣室のひそひそ話に―・てる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

枕(まくら)を高く◦する
《「戦国策」魏策から》
安心して寝る。また、安心して暮らす。「資金繰りがついてようやく―◦して眠れる」

枕(まくら)を濡(ぬ)ら・す
つらさや悲しさのあまり寝床の中で涙を流す。「失恋に―・す」

幕(まく)を切って落と・す
はなばなしく物事を始める。また、はじめて公開する。「全国縦断コンサートツアーの―・す」「秘仏の―・す」

まけ‐いろ【負け色】
戦いに負けそうなようす。敗色(はいしょく)。「―が濃くなる」⇔勝ち色。

負(ま)けが込・む
負けた回数が多くなる。「今場所は不調で―・む」

まけ‐ぐせ【負け癖】
勝負事で、負けることが習慣になってしまうこと。「―がつく」

まけじ‐だましい【負けじ魂】
負けまいと奮いたつ気持ち。まけじごころ。「―を発揮する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まご - つ・く
［動カ五（四）］
迷ってうろうろする。うろたえる。まごまごする。「大きな駅で―・く」

まご - まご
［副］（スル）
まごつくさま。うろたえるさま。「道がわからず―（と）した」

まじめ - くさ・る【真面目腐る】
［動ラ五（四）］
大まじめなようすをする。いかにもまじめな態度をとる。「―・った顔つき」「冗談を―・って言う」

ま - すみ【真澄み】
非常によく澄んでいること。まそみ。「―の空」

ま - そん【摩損】
［名］（スル）
摩擦によって減ること。すりへること。「ゴムのパッキングが―する」

ま - だる・い【間怠い】
［形］［文］まだる・し［ク］
まのびしたり、手際が悪かったりして、じれったい。「―・い口調でしゃべる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まち - あか・す【待（ち）明かす】
［動サ五（四）］
来る人を待ちながら、夜を明かす。また、非常に長く待つ。「まんじりともせず一晩―・す」

まち - あぐ・む【待ち倦む】
［動マ五（四）］
うんざりするほど長く待つ。待ちわびる。「便りを―・む」

まち - がお【待（ち）顔】
待っているような顔つきやそぶり。また、そのさま。「―に入り口を見つづける」「人―」

まち - くら・す【待（ち）暮（ら）す】
［動サ五（四）］
待ちながら日を過ごす。長い間待つ。毎日待ちつづける。「連絡の電話を連日―・した」

待(ま)ち惚(ぼう)けを食わ・す
待ち合わせの約束を守らず、人をむだに待たせる。「昼過ぎまで―・された」

まっき - てき【末期的】
［形動］
終末・滅亡直前のように、救いがたく悪いさま。「―な様相を呈する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まっこう‐くさ・い【抹香臭い】
［形］［文］まっかうくさ・し［ク］
抹香のにおいがする。転じて、いかにも仏教に関係があるような感じだ。「―・い話題」

まっしょう‐てき【末梢的】
［形動］
本質から外れているさま。瑣末(さまつ)で取るに足りないさま。「―な問題にこだわる」

末席(まっせき)を汚(けが)・す
集まりなどに出席したり仲間に加わったりすることを、へりくだっていう言い方。「選考委員の―・す」

待(ま)て暫(しば)しがな・い
気が短い。思い込むと待っていられない。「―・い人」

待(ま)てば甘露の日和(ひより)あり
待っていれば、甘露が降ってくるような日和もある。あせらずにじっくりと待っていれば、やがてよい機会がめぐってくる。

俎板(まないた)に載(の)・せる
議論や批評の対象として取り上げる。俎上(そじょう)に載せる。「新人の作品を―・せる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

俎板(まないた)の鯉(こい) の意味
《俎板の上の、料理されるのを待つ鯉の意から》
相手の意向や運命にまかせるよりほかに方法のない状態のたとえ。俎板の魚(うお)。俎上(そじょう)の魚(うお)。

眦(まなじり)を決・する
目を大きく見開く。怒ったり、決意したりするさま。眦を裂く。「―・して立ち向かう」

免(まぬが)れて恥なし
法の目を逃れているのをよいことにして、悪事を恥じようとしない。

ま - びき【間引き】
［名］(スル)
① 農作物をまびくこと。うろぬき。「コマツナを―する」
② 口べらしのため、嬰児(えいじ)を殺すこと。
③ 本来あるべきものを省くこと。「―運転」

ま - び・く【間引く】
［動カ五（四)］
① 野菜などを十分に生育させるために、間を隔てて抜いて、まばらにする。うろぬく。「ダイコンを―・く」
② 口べらしのため、嬰児(えいじ)を殺す。
③ 本来あるべきものを省く。「電車を―・いて運転する」

まびろけ - すがた【真広け姿】
くつろいで、衣服をはだけて着ている姿。しどけない姿。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

瞼(まぶた)が重(おも)くな・る
眠くなる。眠気をもよおす。「腹がふくれると―・る」

まま - こ【継子】
① 自分の子で、血のつながりのない子。実子でない子。
② 仲間はずれにされる者。のけ者。

まま - し・い【継しい】
［形］［文］まま・し［シク］
親子・兄弟などが血のつながっていない関係である。腹違いの間柄である。「―・い仲」

ま - むかい【真向（か）い】
正しく相対していること。正面。まんまえ。「―の家から火が出た」

ま - めつ【摩滅】
［名］（スル）
すりへること。すれてなくなること。「靴底が―する」

まめまめ - し・い【忠実忠実しい】
［形］［文］まめまめ・し［シク］
① ほね惜しみせずに、よく働くようすである。まじめで、よく努めている。「―・く働く」
② 誠実である。実意がある。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まめ - やか【忠実やか】
［形動］［文］［ナリ］
まじめなさま。心がこもっているさま。また、注意が行きとどいているさま。「―に立ち働く」「―に差配する」

ま - もう【摩耗】
［名］（スル）
かたい材質の物が、すりへること。特に、機械の部品や道具にいう。「―した車軸を交換する」

まゆ - ね【眉根】
① 眉の根もと。眉毛の内側の方。まよね。「―を寄せる」
② まゆ。まよね。

眉（まゆ）を上（あ）・げる
眉をつり上げて怒りを顔に表す。「―・げて詰め寄る」

眉（まゆ）を曇（くも）ら・す
心配ごとや不快な思いのために、顔をしかめる。眉をひそめる。

眉（まゆ）を顰（ひそ）・める
心配なことがあったり、また、他人の嫌な行為に不快を感じて顔をしかめる。眉根を寄せる。「醜態に周囲が―・める」

眉（まゆ）を開（ひら）・く
心配事がなくなって、晴れやかな顔になる。愁眉（しゅうび）を開く。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まる - はぎ【丸剥ぎ】
残すところなくはぎ取ってしまうこと。丸裸にすること。

まる - わかり【丸分（か）り】
対象となる事柄のすべてを理解できること。丸ごとわかること。「―ガイド」

真綿(まわた)で首を締める
遠まわしにじわじわと責めたり痛めつけたりすることのたとえ。

まわり - ぎ【回り気】
気を回して心配したり疑ったりすること。「―の人」

まわり - ばん【回り番】
① 順番で務めに当たること。輪番。「―で宿直をする」
② 見回りをする順番。また、その当番。「―につく」

間(ま)を合わ・せる
① その場を適当に処理する。「仮の回答で―・せる」
② 音楽の拍子を合わせる。

間(ま)を置・く
時間的または距離的に、間隔をあける。「―・いて各隊が出発する」

間(ま)を持た・す
あいた時間や待っている時間を、何か別のことをして過ごす。「世間話で―・す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

万一（まんいち）を頼・む
わずかの望みにすがる。運をあてにする。「―・んで受験する」

まんえつ - しごく【満悦至極】
この上なく満ち足りて、喜んでいること。

まん - きん【万金】
多額の金銭。千金。ばんきん。「―に値する」「―を積む」

まん - きん【万鈞】
《「鈞」は重さの単位》
非常に重いこと。ばんきん。「その一言には―の重みがある」

まん - さい【満載】
［名］（スル）
① 人や荷物をいっぱいにのせること。「砂利を―したトラック」
② 新聞・雑誌に、記事・読み物などをいっぱいのせること。「力作を―した増刊号」

まん - ざ【満座】
人がその座いっぱいになっていること。また、その座にいる人すべて。「―の注目を集める」

まん - ぜん【漫然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
とりとめのないさま。ぼんやりとして心にとめないさま。「―と日を暮らす」「―と眺める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

まんぞく - がお【満足顔】
［名・形動］
満足そうな顔つき。満ち足りた顔つき。また、そのさま。「納得の結果に監督は―だ」

まん - てい【満庭】
庭全体に満ちていること。また、庭一面。庭いっぱい。「―の白露」

まんにん - むき【万人向き】
だれにでも適すること。ばんにんむき。「―のスポーツ」

まん - ば【漫罵】
［名］（スル）
むやみに相手をののしること。「衆人の面前で―される」

まん - ぷく【満幅】
① 幅・広さの全体。
② あるかぎり全部。すべて。全幅。「―の信頼をおく」

まん - まん【漫漫】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
広々と果てしないさま。「―と広がる湖」「―たる大海」

まんまん - いち【万万一】
［副］
「まんいち」を強めた言い方。ひょっとして。ばんばんいつ。「―地震が起きても、備えは十分だ」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

満面（まんめん）朱（しゅ）を濺（そそ）・ぐ
怒って顔を真っ赤にする。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.